

藤田議員の一般質問その2



除雪計画・高齢者免許返納制度を問う

米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

藤田議員の一般質問

本年度の除雪計画を問う

Q、市道の除雪及び消雪路線の延長は進んでいるのか。

A、車道や歩道の除雪、消雪設備の割合は、市内の市道全路線延長に対しては、60%程度となりますが、集落内のせまい道路や通勤・通学に影響が少ない道路は除雪路線になっておりません。市民の生活基盤である主要幹線道路等を降雪時に速やかに確保するため、地域の実情に応じて今まで積み上げてきた路線について除雪対象路線としているものです。

除雪路線の割合を問う

Q、地域ごとの除雪および消雪路線の割合は。

A、伊吹地域の割合は63.2%です。山東地域の割合は51.8%です。米原地域の割合は80.4%です。近江地域の割合は55.6%です。

降雪回数が増えているのか

Q、市道除雪の自治会要望件数、延長はどうか。

A、本年度の自治会からの市道除雪要望は4件あり、延長は1.3kmです。その内、1件は、新たに除雪対象路線に追加することで自治会との協議を終えています。また、道路幅員が4m以下、また通り抜けができない道路など、基準を満たさない場合は除雪路線に追加して機械除雪を行うことはできません。

道路管理者の責任は

Q、道路管理者としての除雪の責任についての考えは。

A、除雪路線になっていな

12月6日の定例会での藤田議員の一般質問その2を掲載します。大項目2問目は、「本年度の除雪計画について」3問目は「高齢者の免許返納について」です。

い市道の多くが、道路幅員4m以下や、通り抜けができない道路などであり、大型の除雪車による迅速かつ安全な除雪を行うことはできません。このことから、市では、自治会に対して除雪機械購入補助金や、自治会パートナーシップ交付金などによる支援や、自治会の自主防災組織等で家屋周辺の除雪をしていただく方のためボランティア活動保険に加入するなど、地域の協力をお願いしているところです。

高齢者の自動車運転中の事故について

Q、高齢者の自動車運転中の事故について。

A、米原市における高齢運転者の事故率は、令和元年から令和3年までの3年間の平均で22.4%となり、県内で6番目に高く、滋賀県全体の平均値を1.4ポイント上回っています。このように、高齢運転者による事故の増加が懸念される状況にあり、第11次米原市交通安全計画では、高齢者が安全に、かつ、安心して外出できる交通社会を形成するために、日常の移動手段や移動方法の違いに応じた対策が必要であると位置づけています。

米原市の返納状況は

Q、米原市の免許返納者の許返納の状況は。

A、本市における高齢者の自主返納の件数は、平成29年は109件、平成30年は128件、令和元年は180件、令和2年は127件、令和3年は133件でした。令和元年は、特に返納が増加しましたが、その後は概ね130件前後で推移しています。

返納の困難さの理解は

Q、返納することの困難さは理解しているか。

A、米原市の一世帯当たりの自家用車保有台数は令和2年度末時点で、県内で5番目に高く、移動手段としての自動車の利用が高いことがうかがわれます。こうした背景には、運転免許証を自主返納することで移動範囲が縮小してしまい、病院・買い物などに支障が生じることや、公共交通機関を利用することによる経済的負担増などに対する懸念や不安があるものと推測しています。

無料タクシー制度の導入は出来たら

Q、返納を考えている方を「まいちゃん号」などの無料モニターにできないか。

A、市では、「まいちゃん号」の利用方法について、出前講座により予約方法や乗り方、相乗りなども体験していただく取組を行っています。また、「まいちゃん号」の利用にあたっては、市民等割引パスポートや75歳以上の方にはタクシー利用の助成も行っており、高齢者の方の利用は毎年増加しております。今後も免許返納を考えるきっかけとして、まいちゃん号の利用方法や制度活用、福祉サービス等も含めて積極的に情報提供を行い、免許返納後も安心して「まいちゃん号」等を活用していただくよう意識啓発に努めてまいります。

